

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年10月10日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	1-5-2-5
事務事業名 高齢者教育事業				部等名	教育部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	中央公民館
	一般	01-100502004	細々目名		
				係等名	社会教育担当
政策体系	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり		
	施策	5	生涯学習体制の充実と施設の整備充実		
	基本事業名	2	生涯学習機会・活動の充実		

事業概要 実施内容	高齢者を対象に趣味、教養、健康に関する内容について学習する教室「新生大学」を開催する。 参加者募集 プログラム作成 学習会運営				
根拠法令等	社会教育法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	8,708 円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役員費	16,000 円	18 備品購入費	円
	8 報償費	5,000 円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	29,708 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		60歳以上の高齢者	
手段(事業の具体的な内容、手順等)	各地区新生会に呼びかけての募集及び全戸配布チラシによる一般公募を経て、参加者を募る。 学習内容は、高齢者向けの「交通安全教室」や和紙工芸品を作る実技等、講話と実技を組み合わせた内容となっている。	活動指標名・式(アウトプット)	活動の大きさを表す指標
		指標(1)	名称 講話及び実技の講座の回数 式 回
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)	高齢者の学習意欲の高揚と社会参加を図る。	成果指標名・式(アウトカム)	意図の達成度を表す指標
		指標(1)	名称 講座の延べ参加人数 式 人
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか 高齢者の学習意欲が高まり、社会参加を促すことにより生涯学習活動の充実が図られ、豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくりに貢献している。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	回			10	10	
	活動指標(2)						
	成果指標(1)	人			206	200	
	成果指標(2)						
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			30	66
	事業費計(A)	千円			0	30	66
職員数	人				0.1	0.1	
人件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
人件費計(B)	千円				837	837	
総事業費(A+B)	千円				867	903	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

〇、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか? 各地区新生会から推薦されて受講する高齢者の数が減ってきた。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 受講した参加者からは、大変役に立ったと概ね好評であったが、租税教室や後期高齢者医療制度といった一方的に聞く講義ばかりでなく、討議形式があるといいとの感想が寄せられた。

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ
学習機会の拡充及び活動の充実が図られている。	高齢者特有の学習課題を提供することができる。	各地区新生会のリーダー育成を兼ねているため妥当。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
受講生の参加による企画検討会議を開催し、参加意欲を高めることができる。	新生会が衰退してしまう。	白沢公民館各分館では同様の事業を開催していないため。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】
回数を減らすことで、継続性がなくなる。		受講料を幾分でも負担してもらおう。 (平成20年度から1,000円負担)

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 講座の運営を受講生主体にすることができれば、出席率も高まり、担当者の負担も減ると予想される。 組織の弱体化を防ぐためにも継続することが大切である。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要 講座の受講生による運営委員会を設置し、役割分担をすると共に、次年度の事業計画や毎回の講座の運営に参画してもらうようにする。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 運営委員会を設置することに対する受講生の理解が必要。																						

4. 事務事業の2次評価結果 2次評価対象 2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由																					
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						